これ以上の負担増にキッパリ反対し
くらしの願い実現に全力つくします

日本共産党

アンケートへのたくさんのご返事、ありがとうございます。ひきつづき、ご意見をお寄せください。日本共産党は、みなさんのご意見を町政に生かすためにがんばります。

「安定した職場があれば若者も定住できるのに」「これ以上の負担増では暮らしていけない」**（アンケートの声）**――自民党と公明党の政治によって、貧困と格差が広がり、雇用が破壊されて若者も展望がもてません。

そのうえ、この6月には、定率減税の全廃で、住民税増税がまたおしよせます。

日本共産党はこれ以上の負担増にキッパリ反対するとともに、みなさんのくらしの声、切実な願いをまっすぐ議会に届け、町民のいのちとくらしを守るため、全力をつくします。

みなさんと力をあわせ これだけは何としても

◆国民健康保険税 せめて1人1万円の引き下げを

3億5千万円もの基金を積み立てている国民健康保険特別会計。その1割を取り崩すだけで、1人当たり年間1万円の引き下げが可能です。

◆不公正な同和行政ただし 中学生の通学バス代を元に戻します

国の同和対策特別措置法は、5年前に終了しています。それなのに、特定の地域を指定して優遇をつづけることは、行政の側から住民の間に垣根をもちこみ、差別を固定化してしまいます。

鳥取市は終結にふみだしました。日南町でも不公正な同和行政を終結し、年間2千万円の同和予算は、町民全体のくらし・福祉のために使わせます。300万円で中学生の通学バス代を元に戻せます。

「共産党は大丈夫…」は選挙の本道から外れます

そもそも、選挙は、政策や実績を語って、支持を競い合うもの。「共産党の○○は大丈夫だから…」という口コミは、選挙の本道から外れたものです。

ご支持の輪が大きければ大きいほど 切実な願い実現の道がひらけます

日本共産党へのご支援が大きくなればなるほど、新しい議会での発言力がつよまり、みなさんの願い実現にがんばる力が大きくなります。

日本共産党 にちなん地域 しんぶん
まち
2007年4月17日・NO.44

日本共産党日南町支部の見解をご紹介します。

発行・日本共産党日南町支部
電話・FAX　83-0645

憲法9条を守るため みなさんと力をあわせてがんばります

町政をきちんとチェックし
住民の立場でしっかり働く人を

日南町の議員定数は、これまでの16名が、今度の選挙から12名となり、議員の役割も責任もそれだけ重くなります。

日本共産党議員（51歳・男性）は、みなさんのご支援にささえられ、①毎議会で発言し、住民の声をしっかり届け、②「良いものは良い、悪いものは悪い」とはっきりモノを言い、③町民要求実現にみなさんと力をあわせてきました。

こういう議員こそ、町議会にますます必要ではないでしょうか。

①毎議会で発言、住民の声とどける

議会に送り出していただいて、8年。日本共産党議員は、毎回の定例議会で必ず質問にたち、住民の声を町政に届けてきました。

とりあげた項目は、地域の安全から暮らし、産業振興、教育、福祉、子どものこと、お年寄り、健康、ゴミ・環境問題など多岐にわたります。

②住民要求実現に力をあわせる

小学校入学前までの乳幼児医療費の負担軽減へ町の独自支援を求め、通院の一部負担を530円におさえることができました。また、高額医療費の受領委任払いや町営バス路線の拡充（神戸上奥地区）などにも尽力してきました。

県に「間伐材持ち出し支援制度」継続を求め、国に「品目横断対策」の中止・見直しを求めて、他の議員にも提起し、協力して要望や意見書採択につとめました。

③住民の立場で町政をチェック きちんと議会報告

「町政の中身がわかってありがたい」「にちなん地域新聞の発刊をこれからも続けて」――アンケートに寄せられた声です。

日本共産党議員は、「生ゴミのコンポスト化」など町民にとって良いことには賛成。不公正な同和行政や豪華すぎる庁舎建設など、ムダづかいにはキッパリ反対してきました。

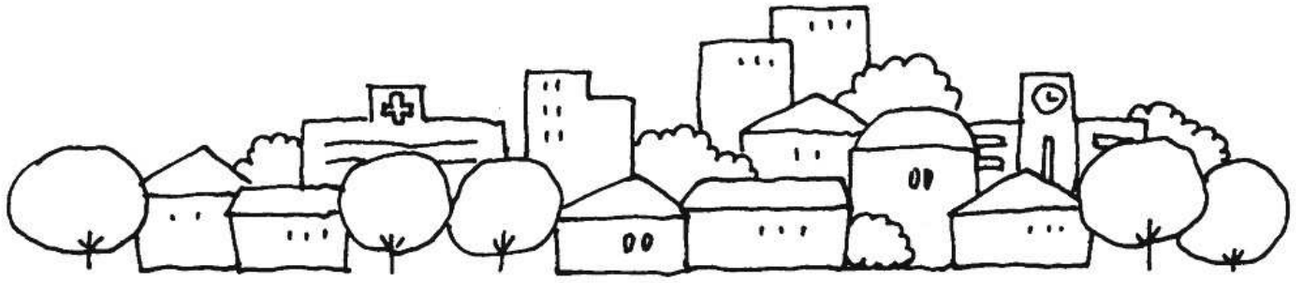
そして、自らの活動もふくめ、町政や議会の様子を「地域新聞」などで報告。みなさんからご意見をいただきながらがんばっています。「住民こそ主人公」が日本共産党の信条だからです。

他の議員は…

住民に不利益になることであっても、町長の提案にほとんど賛成。不公正な同和事業にもダンマリ。

「議会報告」を発行している議員も、ごくわずかです。

これからの日南町のためにも 日本共産党の議席がやっぱり必要です



日本共産党